

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第5期第8回相模原市中央区区民会議			
事務局 (担当課)	中央区役所区政策課 電話042-769-9802(直通)			
開催日時	令和元年8月28日(水) 午前9時30分～11時40分			
開催場所	相模原市民会館 第1大会議室			
出席者	委員	22人(別紙のとおり)		
	その他	5人(企画政策課1名、都市計画課4名)		
	事務局	16人(中央区長、中央区副区長、他14人)		
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数 1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	<p style="text-align: center;">開 会</p> <p style="text-align: center;">議 題</p> <p style="text-align: center;">1 中央区基本計画素案について</p> <p style="text-align: center;">2 その他</p> <p style="text-align: center;">閉 会</p>			

主な内容は次のとおり。

(会長の発言 委員の発言 事務局の発言)

開 会

区民会議規則第3条第3項の規定により、飯島会長が議事を進行した。

会議の成立要件を満たしている旨の報告、傍聴希望者の報告を行い、傍聴を許可した。

傍聴希望者 1名

議 題

1 中央区基本計画素案について

事務局から、【資料1～4】に基づき説明を行った。委員からの意見は次のとおり。

また、本日の意見を踏まえて事務局で素案を修正したものを、次回の区民会議において示し、検討することとなった。

(主な意見等)

【区民参加の取組結果について(資料4)】

自治会や地域活動団体等の組織において役員を依頼すると、意外と引き受けてくれる人がいると聞いた。役員の定年制を設ける等により、人の入れ替わりが行われやすい環境をつくることが重要だと感じた。

○保育所において親子サロン等、子育て世帯を対象とした支援を行っており、多数の親子が参加している反面、参加者に偏りがあることが課題となっている。

○一部の地域活動団体では、40代から30代の若い世代が役員を担っており、組織全体が活性化しているところもあり、組織の循環の重要性を感じる。

まずは若い世代に取組に参加してもらい、達成感を体験してもらうことで、地域活動への参画の必要性を感じてもらえるのではないかと。

○地域活動に参画してもらうためには、まずは地域のつながりの実態を伝える必要がある。

例えば、行政が主催しているふれあい親子サロンにおいても、民生委員、保健師、保育士、栄養士等、地域の多くの人の支えにより事業が実施できている。こうした実態を利用者に伝えていくことで、地域活動の必要性を感じ、自治会加入の促進等につなげていくべきである。そのためにも、地域だけでなく行政と共に、積極的に発信していく必要がある。

【中央区基本計画の素案について（資料１～３）】

○中央区の現状と課題の共生・健康分野において、福祉、高齢者は理解できるが、貧困を明記していることに違和感がある。

共生・健康分野の取組方針３の分野に貧困も入っていることから、現状と課題においても明記している。

○温暖化の対策として、４Ｒだけでなく、省エネ活動も重要な取組であることから、言葉を認知してもらうためにも、「省エネ活動」という文言を入れた方が良い。

○省エネ活動は重要な取組であるが、省エネ活動については、一人ひとりの暮らし方、生き方による個人差があること踏まえて、原案の中で「ライフスタイルを転換するため」と明記しているため、原案が適当と考える。

○中央区の現状と課題の安全・安心分野の中では防犯カメラの設置が明記されているが、取組方針７では明記されていない。犯罪の未然防止の取組として防犯カメラの設置は必要となってくるため、「防犯カメラの設置」を明記した方が良い。

今回の区別基本計画の中では、事業計画に関わるような具体的な実施方法については明記しない構成としているため入れていない。今後、実施計画を検討していく際には防犯カメラの設置等の具体的な施策について担当部局に伝えていきたい。

安全・安心分野の取組方針７の中に「振り込め詐欺等の犯罪」とあるが、犯罪の未然防止の取組を検討していく上での犯罪の対象が振り込め詐欺に限定していると捉えられてしまう恐れがあるため、言葉を追加するのが適当である。

○活力・交流分野の中の相模原総合補給廠については、返還に関する取組も重要であるが、ヘリコプター等の騒音問題といった現状の課題における対策についても明記すべきと考える。

相模原総合補給廠における現状の課題の対策については、全市的な問題でもあるため、総合計画や南区区別基本計画との整合性を確認した上で、調整していく。

○各取組方針における項目について、区役所が関わる取組かどうかで分類しているが、「区役所が積極的に関わる」と「市全体で取り組むこと」で分類すべきと考える。

重点的な取組の中には、区役所の所管でない事務も含まれていることから、「区役所が関わる取組」とその他で分類している。しかし、この表現が誤解を招く恐れがあることから、事務局で再度検討する。

○活力・交流分野の中の地域公共交通網の構築において、コミュニティバスの導入となっているが、既存のバスの環境整備も必要であることから、既存のバス環境の充実への取組についても明記する必要があると考える。

地域公共交通網の前に、「利用しやすい」、「使いやすい」、「利用者目線」等の文言を追記するのが良い。

2 その他

(1) 委員からの情報提供

横山地区で9月8日に実施される移動販売について紹介された。

(2) 都市計画マスタープラン区別基本構想について

都市計画課から、別途配布資料に基づき説明を行った。

また、本日の意見を踏まえて、策定スケジュールに基づき今後の進め方について再度調整することとなった。委員からの意見は次のとおり。

(主な意見等)

○住んでいる区民の視点としては概ね理解できたが、企業誘致の視点が欠けていると感じた。中央区の活性化には、企業誘致による企業の拠点整備が必要である。

○現状の分析に留まっており、将来の視点が十分でないように感じる。

○今後のまちづくりを考えた中で、柔軟な用途地域の変更が求められてくることから、用途地域の見直しについても検討していただきたい。

細かい文言等において、区別基本計画との整合性が取れていないところがある。概要説明だけでなく、都市計画マスタープランの素案を区民会議の全ての委員に配布した上で、議論する必要がある。

閉 会

竹田副会長あいさつの後、閉会。

第5期第8回相模原市中央区区民会議 委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	安藤 孝洋	小山地区まちづくり会議		出席
2	飯島 泰裕	学識経験者（青山学院大学）	会 長	出席
3	石井 トシ子	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら		出席
4	井上 政市	相模原交通安全協会		出席
5	牛尾 良一	中央地区まちづくり会議		出席
6	浦上 裕史	一般社団法人相模原市観光協会		欠席
7	大木 美沙瑛	公募委員		出席
8	永富 多美子	相模原市公民館連絡協議会		出席
9	川道 英弘	相模原市立小中学校PTA連絡協議会		出席
10	神田 隆吾	公益社団法人相模原青年会議所		出席
11	木内 哲也	一般社団法人相模原市医師会		欠席
12	小林 充明	上溝地区まちづくり会議		出席
13	斎藤 奈美	特定非営利活動法人さがみはら環境活動ネットワーク会議		出席
14	坂本 洋三	相模原市地区社会福祉協議会中央区連絡会		出席
15	佐藤 悠貴	公募委員		出席
16	清水 洋子	相模原市私立保育園・認定こども園園長会		出席
17	志村 勝美	田名地区まちづくり会議		出席
18	末永 暁子	横山地区まちづくり会議		出席
19	竹田 幹夫	星が丘地区まちづくり会議	副会長	出席
20	田代 明寛	清新地区まちづくり会議		出席
21	永野 堅次	相模原市民生委員児童委員協議会		欠席
22	中村 太郎	相模原商工会議所		出席
23	馬場 裕美	公募委員		出席
24	山口 信郎	大野北地区まちづくり会議		出席
25	割柏 秀規	光が丘地区まちづくり会議		出席